第１講・人類の出現と世界の古代文明

古代文明のおこり①

ポイント１　文明のおこり

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

大きな川の流域で＿**農耕**（のうこう）＿や＿**牧畜**（ぼくちく）＿が発達

↓

人口増加，貧富（ひんぷ）の差や身分の差が発生，

争いが起き，集団がまとまり各地で国ができる

↓

＿**青銅**＿器・＿**鉄**＿器・

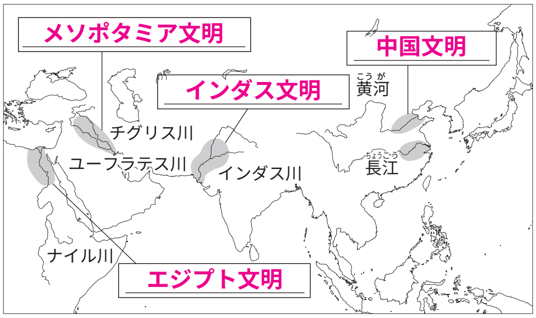
＿**文字**＿などが発明され，

都市を中心に文明がおこる

↓

特に紀元前（きげんぜん）3000年〜1600年ごろには四つの古代文明が発展する

資料1　四つの古代文明



ポイント２　エジプト文明

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

エジプト文明の成立

時期：紀元前3000年ごろ

場所：＿**ナイル川**＿流域（りゅういき）に栄える

「エジプトはナイルのたまもの」

特徴：何かの形をまねた＿**象形**（しょうけい）＿文字が発明される

※象形文字の一つである神聖文字（ヒエログリフ）が

使われていた

天文学が発達し，1年を365日として

12か月に分ける＿**太陽**＿暦（れき）がつくられる

王（ファラオ）の墓として＿**ピラミッド**＿，

その守り神としてスフィンクスがつくられる

資料2　アフリカ大陸を流れるナイル川

資料3　象形文字

資料4　エジプトのピラミッドとスフィンクス

ポイント3 メソポタミア文明

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

メソポタミア文明の成立

時期：紀元前3000年ごろ

場所：＿**チグリス川**＿，＿**ユーフラテス川**＿流域に栄える

特徴：＿**くさび形**＿文字が発明される

月の満ち欠けに基づく＿**太陰**(たいいん)＿暦(れき)

1週7日制，60進法の使用

紀元前2000年ごろにバビロニア王国が成立

紀元前18世紀ごろにハンムラビ王が

＿**ハンムラビ**＿法典(ほうてん)を制定

資料5 くさび形文字が刻まれたハンムラビ法典碑(ほうてんひ)

資料6 オリエント地方の文明

	エジプト文明	メソポタミア文明
場所	ナイル川流域	チグリス川，ユーフラテス川流域
暦	太陽暦	太陰暦
文字	象形文字	くさび形文字
その他	ピラミッド，スフィンクスなど	1週7日制，60進法，ハンムラビ法典など

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) エジプト文明がおこったナイル川が流れる大陸を何というか。　**アフリカ大陸**

(2) 古代エジプトで使用された，ものの形をまねて作られた文字は何か。　**象形文字（神聖文字，ヒエログリフ）**

(3) 古代エジプトでは，1年を365日として12か月に分ける暦がつくられたが，これを何というか。　**太陽暦**

(4) メソポタミア文明がおこったのはチグリス川と何という川の流域か。　**ユーフラテス川**

(5) 古代メソポタミアで使用された文字は何か。　**くさび形文字**

(6) 古代メソポタミアでは，月の満ち欠けに基づく暦がつくられたが，これを何というか。　**太陰暦**